

守ってきたい わがまちの 景観と人々

第22回 (担当: 南阿蘇村)

「人々が住み続ける南阿蘇村」

今回は「人々が住み続ける南阿蘇村」と題して、村の歴史について少しお話しします。

南阿蘇村では、古来より火山の麓で生活を営む知恵や工夫を重ね、現在では約11,700人もの人々が生活を営まれています。さて、私たちの先祖かもしれない大昔の人々の生活はどのようなものだったのでしょうか？ そのことを知る手立てとして、工事等に伴う埋蔵文化財の発掘調査があります。

平成11年〜平成12年に実施した『南鶴遺跡』の発掘調査では、かなり大きな集落があったことが確認されました。この遺跡は吉田地区に広がる弥生時代後期〜晩期（今から約2,000年前）にかけての集落跡で、調査では当時の住居（竪穴式住居）が約100棟も確認されました。

住居の他にも大量の土器やお墓、大きな集落を取り囲む溝（環濠）も確認されていることから、少なくとも約2,000年前から人々の営みが行われ、現在につながる景観が形成されてきたことがわかります。

このように、先人から受け継い

↓南鶴遺跡全景



できた南阿蘇村を後世に残し、世界の阿蘇として守り続けて行きます。

世界遺産「ほれ話

Vol.13

文化財指定が進んでいます

世界文化遺産登録をめざす「阿蘇」では、素晴らしい価値・魅力を未来に守り継いでいくために、火山と人々の共生を示す資産について、文化財指定を進めています。

これまでの取組みにより、米塚や草千里ヶ浜等の文化財指定を実現させてきたところですが、去る6月20日に、熊本城下から大分の豊後鶴崎へと至る「豊後街道」について、追加指定を受けました。

既に豊後街道は、昨年7月に阿蘇市と産山村に存在する街道の一部(計4.4km)が指定を受けていますが、今回は阿蘇市車帰の二重峠地区について、指定範囲が延長(0.8km)される形となります。

今年度はさらに、阿蘇の草原を中心とした「文化的景観」を文化財として守り継いでいくための取組みを進めていくこととしています。

（お問い合わせ）

県企画振興部 文化・世界遺産推進室 Tel.096(333)2153

県世界遺産登録推進ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/sekaiisan/>

◆次回のリレーコラムは、西原村が担当します。



あなたの回答が、日本経済の力になる！

平成26年経済センサスー基礎調査

平成26年商業統計調査を一体的に実施します

◆調査票は平成26年7月1日以降に提出をお願いします。

◆調査の意義・重要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願いいたします。

平成26年 7月1日 (火)

平成26年 経済センサスー基礎調査 商業統計調査

<http://e-census-syogyo.stat.go.jp/>

総務省・経済産業省・熊本県・南阿蘇村

南阿蘇 消費者相談室から

Vol.18

【お問い合わせ】
南阿蘇消費者相談室
Tel (67) 2244

先日、今年度初めての啓発講座に行ってきました。栃木地区の老人会の皆さま、大変お世話になりました。

講座の内容は、まず、簡単な心理テストをし、これから始まる内容すべて、自分には関係のないことだと思わずに「誰でも騙される可能性がある」ことをお伝えしました。次に腹話術のいっこく堂さんが悪質商法の事例を説明するDVDを視聴しました。途中で、実際に悪質な勧誘を断る練習をする場面もあり、大きな声を出して「お断りします！」と言っていたいただきました。事例の再現ドラマでは、皆さん他人事のように笑っておられました。現実には特に、高齢者の方が騙される話が後を絶ちません。皆さん、自宅におられる時に、いろいろな勧誘電話が、かかってきているとのことでしたので、普段から留守番電話に設定し、勧誘の電話には最初から出ないようにするなど、用心するに越したことはないです。今後、会合の合間に少しでもお時間を取っていただけるなら、村内、くまなく馳せ参じます。

巡回相談日

8日 白水保健センター相談室
15日 長陽庁舎1階会議室
専用電話 Tel (67) 2244